

今から約9万年前、白杵の地に丹生島が誕生しました。時代は下って弘治2(1556)年、大友義鎮(宗麟)がそこに城を築いたことで、丹生島は城へと生まれ変わります。その後、この白杵城は太田、稲葉と城主が入れ替わりながら、明治初期の廃城まで城郭として機能しました。そして、令和7年3月10日に国史跡に指定されました。

本企画展では、白杵城跡の国史跡指定を記念して、その誕生から現在までをたどります。

ドーン!!



無料!
申込不要!

白杵城跡 国史跡指定記念講演会

10月5日(日) 13:00～ 白杵市中央公民館ホール

- ①「白杵城～奇跡の海城の在りし日の雄姿～」
三浦 正幸 氏(広島大学名誉教授 日本建築史)
- ②「大友宗麟・義統と白杵」
三重野 誠 氏(大分県立芸術緑丘高等学校校長 日本中世史)

令和7年
9月27日(土)
↓ ↓ ↓
12月22日(月)

「城の如き島」白杵城
——いかにして堅固な島城になったのか——



白杵市歴史資料館

【開館時間】9:30～17:30 ※入館は17:00まで



- 休館日
火曜日(祝日のときはその翌日)および12/29～1/3
- 入館料
一般 330円 学生 160円
- 団体料金(20名以上)
一般 280円 学生 140円
- 通年手形(購入から1年間、入館回数無制限)
一般 660円 学生 330円
- 住所
〒875-0052 白杵市大字市浜 808 番 1
- 連絡先
TEL: 0972-62-2882

